（様式２－１） 　　 　　　　　　　（用紙Ａ４）

|  |
| --- |
| 競争参加資格確認申請書 令和 年 月 日 日本下水道事業団契約職 ○日本本部長 殿 住所 商号又は名称 代表者氏名  令和○年○月○日付けで公告のありました○○市○○浄化センター建設工事に係る競争参加資格について確認されたく、下記の書類を添えて申請します。なお、工事請負業者の選定等に関する達（平成６年達第７号）第２条第１号の規定に該当し、かつ、第２条の２の規定に該当しない者であること及び添付書類の内容については事実と相違ないことを誓約します。記１　　入札説明書に定める施工実績を記載した書面２　　入札説明書に定める配置予定の技術者の資格を記載した書面３　　入札説明書に定める工事経験の確認書類４　　入札説明書に定める総合評価の評価項目に関する書面 |
|

（様式２-２）（電子入札運用基準様式４－１）

令和　　年　　月　　日

日本下水道事業団

契約職 ○日本本部長 殿

 　　　　　　　　　　住所

 　　　　　　　　　商号又は名称

 　　　　　　　　　 代表者氏名

競争参加資格確認申請書類の送付について

下記案件の競争参加資格確認資料及び共同企業体協定書 (特定建設共同企業体を構成する場合)については、ファイル容量に収まらなかったため、郵送します。

記

１.工事名 ○○○○工事

２.問い合わせ先

担 当 者 ○○ ○○

部 署 ○○支店○○部○○課

電話番号 00-0000-0000

３.郵送する書類の目録

・競争参加資格確認申請書

・技術資料

・共同企業体協定書(特定建設共同企業体を構成する場合)

４.郵送する書類の頁数

５.発送年月日

注）持参する場合は、「郵送」を「持参」と書換え、発送年月日は、持参する日付を記載すること。

（様式３）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(用紙Ａ４)

**同種（類似）工事の施工実績**

工事名（本工事）

 会社名

|  |  |
| --- | --- |
| 同種工事、類似工事【どちらかを記載】 | 【同種工事又は類似の工事の条件を記入する。】 |
| 工　事　名　等 | 工事名（実績工事） | ○○市○○浄化センター水処理設備工事 |
| 発注機関名 | ○○市【発注機関の名称とする。】 |
| 工事場所 | ○○県○○市○○地内【コリンズ又は契約書と同一とする。】 |
| 請負代金額 | ○○○円【最終請負代金額を記載】【ＪＶの場合は出資比率を乗じた額を２段書きで記入する。】 |
| 工　　期 | 令和 　年　月　日 ～ 令和 年 月　日 |
| 受注形態 | 【「単体」又は「特定ＪＶ（出資比率○○％）」と記載すること。】 |
| 工　事　諸　元　等 | 計画下水量（ｍ³／日） | 上記工事の施工実績水量等 ○○○ｍ³／日　　様式３参考資料（下水量等の記入例）参照【公告の対象が水処理施設以外の場合は、公告対象設備の数量を記載すること】【水量等の計算根拠を添付する】 |
| 全体計画下水量（ｍ³／日） | ○,○○○ｍ³／日（日最大）　　様式３参考資料（下水量等の記入例）参照【公告の対象が水処理施設以外の場合は、公告対象設備の数量の全体計画を算出し記載すること。】【水量等の計算根拠を添付する】 |
| 処理方式 | ××法 |
| 工事内容 | (例)水処理設備工事１、反応タンク １池２、汚泥返送配管　 １式３、返送汚泥ポンプ １台４、最終沈殿池　　　 １池**【**資格条件として求めている対象設備名称記入**】** |
| 提出者の概要 | 競争参加資格（認定資格）で求めた会社概要 | **【**下水処理設備工事Ａ，Ｂ等級については、次の事項を記載すると共に、建設業許可証の写しを添付すること。（ＪＳにおける等級及び公告文で指定した地域にある本店、支店、営業所及び建設業許可証の種別（水道施設工事業、機械器具設置工事業）】　　　　　下水処理　○　等級　　　　　　　　　　○○支店　（水）、（機） |

|  |  |
| --- | --- |
| 設計業務等の受注者と関連の有無設計会社名：　○○○設計 | 有無を記入 |

（様式３参考資料）

下水量等の記入例

（様式４－１）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（用紙Ａ４）

**現場工事期間の主任(監理又は特例監理)技術者の資格・工事経験**

工事名（本工事）　　　　　　　　　　　　　　　　　会社名

専任期間 　令和　　年　　月　　日～令和　　年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 配置予定技術者氏　　名 | □□□□　（監理技術者、特例監理技術者)又は（主任技術者）※いずれかを記載すること |
| 最終学歴 | ○○大学○○学部○○学科○○年卒業※法令による資格・免許 以外の実務経験で申請する場合のみ記載すること。 |
| 法令による資格・免許 | 監理技術者資格者証（水・機）（交付年・月・日及び交付番号）（ 有効期限令和○○年○○月○○日）【「様式６－１」従事経験証明書を提出すること。】【主任技術者で実務経験による場合は、実務経験証明書が必要となるため、「実務経験による」と記入し、「別記様式６－２」を提出のこと】【必要に応じて｢様式６－４｣建設工事施工実績証明書を求める場合がある。】 |
| 工事経験の概要 | 工事名（実績工事） | ○○市○○浄化センター水処理設備工事 |
| 発注機関名 | ○○市【発注機関の名称とする。】 |
| 工事場所 | 【コリンズ又は契約書と同一とする】 |
| 請負代金額 | ￥ ○○○○…　　　【最終請負代金額】 |
| 工期 | 令和　年　月　日～令和　年　月　日 |
| 従事役職 | 現場代理人・主任（監理）技術者等 |
| 工事内容 | （例）○○設備工事【資格条件として求めている対象の設備名称で記入。また、処理方式を記入する】1. 反応タンク 　　１池
2. 汚泥返送配管 　１式
3. 返送汚泥ポンプ １台
4. 最終沈殿池　　　１池
 |
| コリンズ登録の有無 | 有　(コリンズ登録番号)　　・無 |
| 申請時における他工事の従事状況 | 工事名（実績工事） | 従事していない場合は、「無し」と記入し、CORINSの「工事従事情報（工事従事実績一覧）」の写しを添付する。【注）従事している場合は①コリンズ又は契約書の写しを添付する。】 |
| 発注機関名 |  |
| 工事場所 |  |
| 工期 | 令和　年　月　日～令和　年　月　日 |
| 従事役職 | 現場代理人・主任（監理）技術者等 |
| 本工事と重複する場合の対応措置 | 【例文：本工事の現場に着手する前の○月○日に工事完了予定のため本工事に従事可能】【本工事と従事工事との現場施工期間が重複していないことを確認する資料（様式８）を添付する。】【特例監理技術者として申請する場合は、様式4-3-5　を提出すること。】 |
| コリンズ登録の有無 | 有　(コリンズ登録番号)　　・無 |

注）工事内容は、入札公告6.1の工事経験並びに、入札説明書に示す該当の設備が含まれていることを簡潔に記載すること。

注）コリンズで配置予定技術者の氏名が確認できない場合は、「様式６－１」従事経験証明書を提出する。

注）必要に応じて｢様式６－４｣建設工事施工実績証明書を求める場合がある。

注）様式８は、本工事と従事工事の契約期間が重複する場合のみ提出すること。

注）特例監理技術者として申請する場合は、「様式4-3-5」特例監理技術者の配置を予定している場合の確認事項を提出すること。

注）副担当又は補佐等における工事経験により申請を行う場合は、下記の要件を満たすこととする。

・該当工事のコリンズに「担当技術者」として登録され、現場施工期間の全期間を従事していること。

・職務分担通知書及び施工計画書現場組織表等に副担当や補佐として明記されていること。

・工事打合簿等により、現場施工期間の全期間に従事し、主任（監理）技術者を補佐したことが確認できる資料を提出すること。

（様式４－２）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（用紙Ａ４）

**工場製作期間の主任（監理）技術者の資格**

工事名（本工事）

 　会社名

|  |  |
| --- | --- |
| 配置予定技術者の | □□□□ |
| 最終学歴 | ○○大学○○学部○○学科○○年卒業＜注意事項＞最終学歴は、法令による資格・免許 以外の実務経験で申請する場合のみ記載すること。 |
| 法令による資格・免許 | 監理技術者資格者証（水・機）（交付年及び交付番号）＜注意事項＞* 建設業法第７条２号イ、ロに該当するものにあっては、実務経験証明書が必要となるため、法令による資格・免許欄に「実務経験による」と記入して「様式６－２」を添付する。
* 建設業法第７条第２号ハに該当する者にあっては、所有する資格を記入する。
 |

（様式４－３－５）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（用紙Ａ４）

**特例監理技術者の配置を予定している場合の確認事項**

工事名（本工事）

会社名

兼務配置予定期間　令和　年　月　日～令和　年　月　日

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 特例監理技術者の配置を予定しており、監理技術者補佐を専任で配置する。 |
| □ | 　同一の特例監理技術者が配置できる工事は、本工事を含め同時に２件までとする。 |
| □ | 現在従事している工事と兼務の場合は、従事している工事が兼務を認める工事で、かつ、兼務の条件を満たしている、又はその工事について発注者が兼務することを承諾している。※特例監理技術者が現在従事している工事と兼務の場合は、従事している工事が兼務を認める工事であることが確認できる書類（入札公告等の写し等）を提出すること。 |
| □ | 　特例監理技術者が兼務する範囲は工事相互の間隔（直線距離）が10km以内である。※各工事の施工場所を記入した地図（工事相互間の間隔が分かる地図）を添付すること。A4用紙 |
| □ | 特例監理技術者は、主要な会議への参加、工事現場の巡回、主要な工程の立ち合いなど、元請としての職務が適正に遂行でき、かつ、監理技術者補佐と常に連絡がとれる体制である。 |

　注）上記項目を全て満たしていることを確認後、□にレ点又は■を記載すること。

|  |  |
| --- | --- |
| 特例監理技術者の | □□□□　 |
| 現在従事している工事 | 工事名称 |  |
| 発注機関名 | ○○市【発注機関の名称とする。】 |
| 工事場所 | 【コリンズ又は契約書と同一とする。】 |
| 専任又は兼務期間 | 令和　年　月　日～令和　年　月　日 |
| 監理技術者補佐の | □□□□　 |
| 法令による資格・免許 | 資格の名称　　番号（工事種別の参加資格を満たす資格資料の写しを添付） |
| 申請時における他工事の従事状況 | 工事名称 |  |
| 発注機関名 |  |
| 工事場所 |  |
| 工　　期 |  |
| 従事役職 |  |
| 本工事と重複する場合の対応措置 | 従事していない場合は、「無し」と記入する。【注）従事している場合は、本工事と現場施工期間が重複していないことを確認する資料を（様式８）を添付する。】 |
| コリンズ登録の有無 | 有　(コリンズ登録番号)　　・無 |

注）本様式は、特例監理技術者として申請する場合の様式4-1「現場工事期間の主任(監理又は特例監理)技術者の資格・工事経験」の添付資料である。

（様式５）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（用紙Ａ４）

**設計担当技術者の資格・設計経験**

工事名（本工事）

 　会社名

|  |  |
| --- | --- |
| 配置予定技術者の氏名 | □□□□ |
| 最終学歴 | ○○大学○○学部○○学科○○年卒業※法令による資格・免許 以外の実務経験で申請する場合のみ記載すること。 |
| 法令による資格・免許 | 監理技術者資格者証（機）（交付年及び交付番号）（ 有効期限令和○○年○○月○○日 ）【「様式６－１」従事経験証明書を提出すること。】【監理技術者資格者証以外で申請の場合「実務経験による」と記入し、「別記様式６－３」を添付すること。】【必要に応じて｢様式６－４｣建設工事施工実績証明書を求める場合がある】 |
| 設計経験の概要  | 工事名（実績工事） | ○○市○○浄化センター水処理設備工事 |
| 発注機関名 | ○○市 |
| 工事場所 | 契約書と同一とする |
| 請負代金額 | ￥ ○○○…（最終請負代金額を記入する。） |
| 工期 | 令和　年　月　日～令和　年　月　日 |
| 従事役職 | 設計担当技術者等【設計業務に従事していない主任（監理）技術者又は現場代理人では、設計経験として認めない。】 |
| 設計内容 | ○○設備工事【資格条件として求めている対象の設備名称で記入。また、処理方式を記入する】1. 反応タンク 　　１池
2. 汚泥返送配管 　１式
3. 返送汚泥ポンプ １台
4. 最終沈殿池　　　１池
 |

注）副担当又は補佐等における設計経験により申請を行う場合は、下記の要件を満たすこととする。

・該当工事のコリンズに「担当技術者」として登録され、設計業務全般に副担当や補佐等として従事していること。

・職務分担通知書・機器製作計画書等に副担当や補佐等として明記されていること。

・設計業務全般に従事し、設計担当技術者を補佐したことが確認できる資料（機器設計製作打合せ議事録、図面等）を提出すること。

（様式６－１）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（用紙Ａ４）

**従事経験証明書**

　下記のとおり従事経験を有することに相違ないことを証明します。

令和 　　 年 　　 月 　　 日

 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　商号又は名称

 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者氏名

記

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （フリガナ） |  | 雇用されている期間 | 令和　　年　　月　　日　から現在に至る |
| 技術者の氏名 |  |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 工事名 | 発注機関名 | 工事場所 | 請負代金額 | 工期 | 従事役職 | 工事内容 |
| ○○市○○処理場水処理設備工事 | ○○市 | ○○○○ | \○○○ | 令和○年○月～令和○年○月 | 現場代理人主任（監理）技術者等 | 最初沈澱池設備、反応タンク設備、最終沈殿地設備 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

注）主任（監理）技術者については、現場管理業務に従事していない設計担当技術者の経験では認めない。

注）設計担当技術者については、設計業務に従事していない主任（監理）技術者又は現場代理人の経験では認めない。

注）工事場所等は契約書と同じとする。

注）工事内容は、資格条件として求めているすべての対象設備名称を記入。

注）実績は、元請けの実績のみ記載する。

注）従事役職は、主任（監理）技術者の場合、コリンズで確認し、設計担当技術者の場合、図面・仕様書又は打合せ議事録等で確認する。（様式６－２）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（用紙Ａ４横）

**実務経験証明書**

　下記の者は機械設備工事に関し、下記のとおり実務経験を有することに相違ないことを証明します。

令和 　　 年 　　 月 　　 日

 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　商号又は名称

 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者氏名

記

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （フリガナ） |  |  |  | 雇用されている期間 | 令和　　年　　月　　日　から現在に至る |
| 技術者の氏名 |  | 生年月日 |  |
| 最終学歴(指定学科のみ) |  | 卒業年月 |  |
| 有する資格 |  | 番号 |  |
| 使用者の商号又は名称 |  |

実務経験年数

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発注機関名 | 請負代金の額(千円) | 職名 | 実務経験の内容 | 実務経験年数 | 指導監督的実務経験年数 |
| ○○町 | \*\*\*,\*\*\* | 工事担当 | ○○浄化センター○○設備工事（ポンプ設備工事） | ○年 ○月～ ○年 ○月 | ○か月 | ○年 ○月～ ○年 ○月 | か月 |
| ○○市 | \*\*\*,\*\*\* | 工事主任 | ○○浄化センター○○設備工事（水処理設備工事） | ○年 ○月～ ○年 ○月 | ○か月 | 年　　月～　　年　月 | か月 |
|  |  | 現場主任 |  | ○年 ○月～ ○年 ○月 | ○か月 | 年　　月～　　年　月 | か月 |
|  |  | 現場監督 |  | ○年 ○月～ ○年 ○月 | ○か月 | 年　　月～　　年　月 | か月 |
|  |  | 現場主任 |  | 年　　月～　　年　月 | か月 | 年　　月～　　年　月 | か月 |
| 合計　○年　　○か月 | 合計　　○年　　○か月 |

注）実績は、元請けの実績のみとし、請負代金額が1000万円以上の工事について記載する。

注）会社における職名ではなく、「工事現場主任」、「工事現場監督者」等の工事を行ったときの立場を記入する。

注）実務経験の内容には次の機械設備工事内容から選別し、主たる設備内容を記入する。（ポンプ設備、送風機設備、水処理設備、汚泥処理設備、汚泥焼却設備等）

注）実務経験年数は工事の工事契約工期ではなく、技術者が対象工事内容の工事に実際に携わった期間を記入する。

注）指導監督的実務経験年数は、4500万円以上の請負代金額の工事に限る。（ただし、主任技術者の実務経験の場合は記載不要）

注）最終学歴は、大学院、専門学校は指定学科に該当しない。（様式６－３）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（用紙Ａ４）

**実務経験証明書（設計担当技術者）**

　下記の者は機械工事に関し、下記のとおり実務経験を有することに相違ないことを証明します。

令和 　　 年 　　 月 　　 日

 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　商号又は名称

 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者氏名

記

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （フリガナ） |  |  |  | 雇用されている期間 | 令和　　年　　月　　日　から現在に至る |
| 技術者の氏名 |  | 生年月日 |  |
| 最終学歴(指定学科のみ) |  | 卒業年月 |  |
| 有する資格 |  | 番号 |  |
| 使用者の商号又は名称 |  |

実務経験年数

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 発注機関名 | 請負代金の額(千円) | 職名 | 実務経験の内容 | 実務経験年数 |
| ○○町 | \*\*\*,\*\*\* | 設計担当 | ○○浄化センター○○設備工事（ポンプ設備工事） | ○年 ○月～ ○年 ○月 | ○か月 |
| ○○市 | \*\*\*,\*\*\* | 設計担当 | ○○浄化センター○○設備工事（ポンプ設備工事） | ○年 ○月～ ○年 ○月 | ○か月 |
|  |  |  |  | ○年 ○月～ ○年 ○月 | ○か月 |
|  |  |  |  | ○年 ○月～ ○年 ○月 | ○か月 |
|  |  |  |  | 年　　月～　　年　月 | か月 |
| 合計　○年　　○か月 |

注）実績は、元請のみ記載し、請負代金額が1000万円以上の工事について記載する。

注）実務経験の内容には次の機械設備工事内容から選別し、主たる設備内容を記入する。（ポンプ設備、送風機設備、水処理設備、汚泥処理設備、汚泥焼却設備等）

注）実務経験年数は工事の工事契約工期ではなく、技術者が対象工事内容の設計に実際に携わった期間を記入する。

注）職名は、会社における職名ではなく、「設計担当」、「設計補助」等の設計を行ったときの立場を記入する。

（様式６－４）

建設工事施工実績証明書

令和　　年　　月　　日

様

申請者

住所

商号又は名称

代表者氏名

日本下水道事業団へ提出する競争入札参加資格確認資料に添付するため、下記のとおり施工し完成したことを証明願います。

|  |  |
| --- | --- |
| 工事名 |  |
| 工事場所 |  |
| 請負代金額 |  |
| 工期 |  |
| 受注者 |  |
| 配置技術者　（現場代理人） |  |
| （主任技術者） |  |
| （監理技術者） |  |
| （設計担当技術者） |  |
| 工事概要 |  |

上記工事を施工し完成したことを証明する。

令和　　年　　月　　日

工事発注機関名

証明者職名

証明者氏名

（様式８）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（用紙Ａ４）

**工事工程表**

工事名　○○○○○浄化センター水処理設備工事その○　　 　会社名

本工事の配置予定期間　令和○○年○○月○○日～令和○○年○○月○○日

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　　　　年　月項　　目 | 令和○○年 | 令和○○年 | 令和　年 |
| 7月 | ８月 | ９月 | １０月 | １１月 | １２月 | 1月 | ２月 | ３月 | ４月 | ５月 | 6月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 |
| 工　事　名（他工事）：○○○○○浄化センター水処理設備工事その○工期：令和○○年○○月○○日～令和○○年○○月○○日現在の専任期間：令和○○年○○月○○日～令和○○年○○月○○日変更見込みの専任期間：令和○○年○○月○○日～令和○○年○○月○○日従事役職： |
| 据付工事・試運転 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 工　事　名（他工事）：○○○○○浄化センター水処理設備工事その○工期：令和○○年○○月○○日～令和○○年○○月○○日現在の専任期間：令和○○年○○月○○日～令和○○年○○月○○日変更見込みの専任期間：令和○○年○○月○○日～令和○○年○○月○○日従事役職： |
| 設計 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 購入品手配・内作品製作 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 据付工事・試運転 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

注1）従事工期が重複する工事が複数ある場合、すべての工事について記載すること（複数枚も可）

注2）本工事の配置予定期間と他工事の契約期間が重複する場合のみ提出すること。

（様式９－１）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（用紙Ａ４）

指名停止措置についての通知書

　当社は、下記工事に係る競争参加資格確認申請書の提出にあたり　　　　令和　　年　　月　　日時点において、　　県又は　　市より指名停止の措置を受けていないことを通知します。

なお、落札者の決定の時までに　　県又は　　市より指名停止の措置を受けた場合は、遅滞なく連絡するとともに、本通知書と異なる事実が判明した場合は、競争参加資格がない者のした入札として、入札公告等に記載された措置を受けることに異存ありません。

記

　工　 事 名 ：

住所

商号又は名称

氏名

（様式９－３）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（用紙Ａ４縦）

令和　　年　　月　　日

契約書提出時

日本下水道事業団

　契約職　〇日本本部長　殿

指名停止措置についての確認書（契約書案提出時）

　当社は下記工事に係る契約書案の提出にあたり、以下の期間に

　　より指名停止の措置を受けていないことを通知します。

　なお、契約締結後、以下の期間に　　　　　　　　より指名停止の措置を受けていたことが判明した場合は、速やかに連絡するとともに、競争参加資格を満たさないものとして入札又は見積並びに本契約が無効となることを確認します。

　また、日本下水道事業団等の指名停止期間中に当該指名停止業者と下請契約（複数次の下請契約を含む。）を締結しません。

一般競争入札方式(事後審査)の場合 ：競争参加申請書の提出期限の日から落札候補者の決定の時まで

一般競争入札方式(総合評価)の場合 ：競争参加資格確認申請書の提出期限の日から落札者の決定の時まで

随 意 契 約 方 式による場合：見積依頼日から見積の時まで

記

　工　 事 名 ：

以　上

所　在　地

商号又は名称

代表者氏名

（様式１１）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（用紙Ａ４）

**受　　領　　書**

公告文の工事名

 令和　　年　　月　　日

日本下水道事業団

（様式１２）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（用紙Ａ４）

**競争参加資格確認申請書（提出者連絡先）**

* 工事名
* 業者名
* 支店名・担当部署
* 担当者名
* 住所　〒
* 電話番号
* ＦＡＸ番号
* メールアドレス

（様式１３－１）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　（用紙Ａ４）

令和　　年　　月　　日

申出書（配置予定技術者の不配置）

日本下水道事業団

契約職　●日本本部長

　　　　　　　　　殿

住 所

商号又は名称

 代表者氏名

工　事　名

上記について、入札書を提出しているところですが、他の工事を落札し又は落札候補者となったことにより配置予定技術者を配置できなくなった旨申し出ます。

【落札又は落札候補者となった他の工事及び配置できなくなった技術者の氏名】

発注機関名

工事名

落札又は落札候補者となった日 令和　　年　　月　　日

配置予定技術者（本工事に配置できなくなった技術者）の氏名

配置期間

担当者連絡先： ○○○○（株）○○支店○○部○○課

○○　○○

TEL　○○-○○○-○○○○

FAX　○○-○○○-○○○○

E-mail \*\*\*\*\*@\*\*\*\*.\*\*.\*\*.jp

注1）本申出書を提出する際に他工事を落札したことを証明する資料（落札者決定通知書等）の写しを必ず添付すること。

注2）申請した配置予定技術者が配置できなくなり、本工事の辞退申請を行った場合に提出すること。

（様式１３－２）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（用紙Ａ４）

令和　　年　　月　　日

申出書（複数名申請した配置予定技術者の取下げ）

日本下水道事業団

契約職　●日本本部長

　　　　　　　　　殿

住 所

商号又は名称

 代表者氏名

工　事　名

上記について、複数名の配置予定技術者を申請のうえ、入札書を提出しているところですが、他の工事を落札し又は落札候補者となったことにより一部の配置予定技術者を配置できなくなった旨申し出ます。

【落札又は落札候補者となった他の工事及び配置できなくなった技術者の氏名】

発注機関名

工事名

落札又は落札候補者となった日 令和　　年　　月　　日

配置予定技術者（本工事に配置できなくなった技術者）の氏名

配置期間

【本工事に配置可能な技術者の氏名】

担当者連絡先： ○○○○（株）○○支店○○部○○課

○○　○○

TEL　○○-○○○-○○○○

FAX　○○-○○○-○○○○

E-mail \*\*\*\*\*@\*\*\*\*.\*\*.\*\*.jp

注1）本申出書を提出する際に他工事を落札したことを証明する資料（落札者決定通知書等）の写しを必ず添付すること。

注2）申請した複数名の主任（監理）技術者のうち、一部の技術者が本工事に配置できなくなった場合に提出する。

（様式１４）

日本下水道事業団

　企画調整課御中

（FAX 　　-　　　-　　　）

**技術資料(事前申請書)郵送連絡書**

　下記工事の技術資料(事前申請書)を送付したので標記をＦＡＸします。

* 送付年月日 令和 年 月 日
* 工事名
* 会社名
* 支店名・担当部署
* 担当者名
* 住所 〒
* 電話番号
* ＦＡＸ番号
* メールアドレス

※　以下の書類貼付欄に必ず「提出期限の前日」が確認できる資料を

貼付のうえ、ＦＡＸしてください。

書　類　貼　付　欄

書留などの「記録郵便物等受領証」又は

「信書便の受付印」貼付欄

様式２０　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（用紙Ａ４）

令和　　年　　月　　日

日本下水道事業団

契約職　●日本本部長　殿

商号又は名称

代表者氏名　　　 印

企業の技術力等に関する評価項目回答書

工事名

［企業の施工能力に関する評価項目］

1. 企業の工事成績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 契約年度 | 工期末 | 工事名 | 出資比率（JVの場合） | 工事の種別 | 工事成績評定点 |
| 　 | 　 |  | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 |  | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 |  | 　 | 　 | 　 |
| 評定平均点 |  |

注１）評定平均点は、工事成績評定の平均点とし、小数第２位を四捨五入した値とすること。

注２）成績評定通知書の写しを添付すること。なお、成績評定通知書を紛失した場合は、工事成績評定点欄に「紛失」と記載の上、コリンズ登録の写しを添付すること。

注３）工事件数が３件を超える場合は、評定平均点の欄に工事成績評定の平均点のみを記入し、工事成績一覧表を別表として添付すること。

注４）工事件数が３件に満たない場合は、不足する施工実績の工事成績評定点は75点とすること（工事名欄は「該当なし」と記載）。

注５）施工実績が無い場合は、工事名欄に「該当なし」と記載すること。

注６）上記内容と確認資料と合致しない場合は、加点評価対象としない。

注７）工事成績等実績確認書の交付を受けた場合は、工事成績実績確認書を添付すること。これにより申請する場合は、表中に「工事成績等実績確認書による」と記載すること。

1. 関連分野での共同研究の実績

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 共同研究の分類（区分） | 完了年度 | 企業名 | 共同研究課題名 |
|  | 　 |  | 　 |
|  | 　 |  | 　 |
|  | 　 |  | 　 |

注１）共同研究実績通知書の写しを添付すること。

注２）公告に指定した分類に係る共同研究の実績のみを記載すること。

注３）該当なしの場合は、共同研究の分類（区分）欄に「該当なし」と記載すること。

注４）上記内容と確認資料が合致しない場合は、加点評価対象としない。

注５）工事成績等実績確認書の交付を受けた場合は、工事成績実績確認書を添付すること。これにより申請する場合は、表中に「工事成績等実績確認書による」と記載すること。

1. 優良工事等表彰

１）優良工事表彰等又は功労者表彰

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 表彰年度 | 機関名及び表彰者 | 工事名 | 工事種別 | 表彰された会社名（ＪＶの場合） |
| 　 | 　 |  |  | 　 |
| 　 | 　 |  |  | 　 |

注１）表彰状の写しを添付すること。

注２）該当なしの場合は、工事名欄に「該当なし」と記載すること。

注３）上記内容と確認資料が合致しない場合は、加点評価対象としない。

注４）工事成績等実績確認書の交付を受けた場合は、工事成績実績確認書を添付すること。これにより申請する場合は、表中に「工事成績等実績確認書による」と記載すること。

２）優良施工業者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 選定通知年度 | 工事種別 | 選定された会社名（ＪＶの場合） |
| 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 |

注１）選定通知書の写しを添付すること。

注２）該当なしの場合は、工事種別欄に「該当なし」と記載すること。

注３）上記内容と確認資料が合致しない場合は、加点評価対象としない。

注４）工事成績等実績確認書の交付を受けた場合は、工事成績実績確認書を添付すること。これにより申請する場合は、表中に「工事成績等実績確認書による」と記載すること。

1. 企業の施工実績

|  |  |
| --- | --- |
| 評価基準内容 | ［入札説明書に記載された評価基準のうち、該当する項目を記載］ |
| 発注機関 |  |
| 工事名 |  |
| 工事場所 |  |
| 請負代金額 |  |
| 工　期 | ［令和○○年○月○○日～令和○○年○月○○日］ |
| 工事内容 |  |
| 評価対象となる具体的工事内容 | ［評価対象となる対象工事内容を簡潔に記載］ |
| 評価対象となる規模等 | ［評価対象となる対象工事の規模を簡潔に記載］ |
| その他 |  |

注１）評価対象となる条件を明確に確認できる資料として、対象工事のコリンズ登録、施設の規模及び工事内容の図面類等の写しを提出すること。なお、コリンズに登録されていない場合は、契約書（工事名、請負代金額、発注機関、受注者名）の写しを提出すること。

注２）上記内容と確認資料が合致しない場合は、加点評価対象としない。

注３）該当なしの場合は、工事名欄に「該当なし」と記載すること。

1. マネジメント難工事の施工実績

[マネジメント難工事の施工実績－１]

|  |  |
| --- | --- |
| 工　　事　　名 |  |
| 工事成績評定点 | 点 |
| 発注機関 | 日本下水道事業団　東日本本部　　西日本本部 |
| 工　　　期 | ［令和○○年○月○○日～令和○○年○月○○日］ |
| 受注形態 | 単体／ＪＶ（出資比率） |

[マネジメント難工事の施工実績－２]

|  |  |
| --- | --- |
| 工　　事　　名 |  |
| 工事成績評定点 | 点 |
| 発注機関 | 日本下水道事業団　東日本本部　　西日本本部 |
| 工　　　期 | ［令和○○年○月○○日～令和○○年○月○○日］ |
| 受注形態 | 単体／ＪＶ（出資比率） |

[マネジメント難工事の施工実績－３]

|  |  |
| --- | --- |
| 工　　事　　名 |  |
| 工事成績評定点 | 点 |
| 発注機関 | 日本下水道事業団　東日本本部　　西日本本部 |
| 工　　　期 | ［令和○○年○月○○日～令和○○年○月○○日］ |
| 受注形態 | 単体／ＪＶ（出資比率） |

注１）対象工事ごとのコリンズ登録の写しを添付すること。

注２）対象工事ごとの公告文（マネジメント難工事指定の工事であることが確認できる部分）の写しを添付すること。

注３）対象工事ごとの成績評定通知書を添付すること。

注４）上記内容と確認資料が合致しない場合は、加点評価対象としない。

注５）該当なしの場合は、工事名欄に「該当なし」と記載すること。

注６）工事成績等実績確認書の交付を受けた場合は、工事成績実績確認書を添付すること。これにより申請する場合は、表中に「工事成績等実績確認書による」と記載すること。

1. 若手技術者（40歳以下）又は女性技術者の配置・資格

[若手技術者（40歳以下）又は女性技術者－１]

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 若手又は女性技術者の配置 | 配置予定技術者名 | 年齢 |
|  |  |
| 資格又は継続教育（ＣＰＤ）の取り組み |
| 取得資格名 |  |
| ＣＰＤ協議会加盟団体の名称 |  |
| 推奨単位 |  |
| 取得単位 |  |

注１）健康保険・厚生年金保険被保険者標準報酬決定通知書の写し（最新のものであって、被保険者整理番号にマスキング加工の施されたもの）又は雇用保険被保険者資格取得等確認通知書の写し（被保険者番号にマスキング加工の施されたもの）を添付すること。

注２）若手技術者（40歳以下）については、生年月日が確認できる資料を提出すること。

注３）評価対象となる資格を確認できる資料として、資格証の写しを提出すること。

注４）評価対象となる取得単位を確認できる資料として、建設系ＣＰＤ協議会に加盟する団体の推奨単位、取得単位が証明できる書類（当該団体が発行した証明書の写し）を添付すること。

注５）同一の団体の単位に限る。

注６）上記内容と確認資料が合致しない場合は、加点評価対象としない。

注７）該当なしの場合は、配置予定技術者名の欄に「該当なし」と記載すること。

注８）技術者３名を申請する場合は、上記に準じて提出すること。

1. 「労務費見積り尊重宣言」促進モデル工事

|  |  |
| --- | --- |
| 「労務費見積り尊重宣言」を公表および下請企業への見積り依頼に際して労務費（労務賃金）を内訳明示する取組を誓約の有無 | 該当の有無 |
| 「労務費見積り尊重宣言」の公表 |  |

注１）経常ＪＶは全ての構成員においてそれぞれ公表が必要で、特定ＪＶは代表者のみの公表でよい。

注２）該当あり又は該当なしの場合は、該当の有無の欄に「該当あり」又は「該当なし」と記載すること。

注３）「労務費見積り尊重宣言」を公表していることが確認できる資料を提出すること。ただし、公表していることが確認できる資料は、ホームページ等で公表している場合においては、「当該URLが記載された掲載ページの写し」とし、第３者が閲覧できる場所に掲示している場合においては、「実際の掲示環境写真及び掲示資料の写し」とする。

［配置予定技術者の施工能力等に関する評価項目］

１）申請時に配置予定技術者が特定できない場合は、３名を限度として複数の技術者を申請することもできる。その場合、評価対象となる技術者は、「技術者の施工能力等に関する評価項目」に係る「評価点の合計値」が最も低い者とする。なお、申請するすべての配置予定技術者は、競争参加資格の要件を満たしていることが必要である。

2）入札後、落札者の決定までの期間に、他の工事を落札し又は落札候補者となったことにより、申請した複数名のいずれかの主任技術者、監理技術者又は特例監理技術者を配置できなくなった場合には、直ちに入札説明書の４(1)に連絡するとともに、速やかに「様式１３－２」の申出書を持参又は郵送等により、提出すること。申出書の提出場所は前記に同じ。

3）複数名申請した場合で、落札決定通知を受けた者は、通知を受けた翌日から2日以内（土、日、祝日は除く）に、本工事に配置する技術者の氏名を企画調整課にファックスで通知すること。

1. 配置予定技術者の工事経験

 [配置予定技術者－１]

|  |  |
| --- | --- |
| 配置予定技術者名 |  |
| 評価基準内容 | ［入札説明書別紙に記載された評価基準のうち、該当する項目を記載］ |
| 発注機関 |  |
| 工事名 |  |
| 工事場所 |  |
| 請負代金額 |  |
| 工　期 | ［令和○○年○月○○日～令和○○年○月○○日］ |
| 配置予定技術者が従事した期間 | ［令和○○年○月○○日～令和○○年○月○○日］ |
| 従事期間の資格 | ［監理技術者（特例監理技術者）又は主任技術者］のいずれかを記載 |
| 工事内容 |  |
| 評価対象となる具体的工事内容 | ［評価対象となる対象工事内容を簡潔に記載］ |
| 評価対象となる規模等 | ［評価対象となる対象工事の規模を簡潔に記載］ |
| その他 |  |

[配置予定技術者－２]

|  |  |
| --- | --- |
| 配置予定技術者名 |  |
| 評価基準内容 | ［入札説明書に記載された評価基準のうち、該当する項目を記載］ |
| 発注機関 |  |
| 工事名 |  |
| 工事場所 |  |
| 請負代金額 |  |
| 工　期 | ［令和○○年○月○○日～令和○○年○月○○日］ |
| 配置予定技術者が従事した期間 | ［令和○○年○月○○日～令和○○年○月○○日］ |
| 従事期間の資格 | ［監理技術者（特例監理技術者）又は主任技術者］のいずれかを記載 |
| 工事内容 |  |
| 評価対象となる具体的工事内容 | ［評価対象となる対象工事内容を簡潔に記載］ |
| 評価対象となる規模等 | ［評価対象となる対象工事の規模を簡潔に記載］ |
| その他 |  |

注１）評価対象となる要件を明確に確認できる資料として、対象工事のコリンズ登録、施設の規模及び、工事内容の図面類等の写しを提出すること。なお、コリンズに登録されていない場合は、契約書（工事名、請負代金額、発注機関、受注者名）の写しを提出すること。

注２）上記内容と確認資料が合致しない場合は、加点評価対象としない。

注３）該当なしの場合は、配置予定技術者名欄に「該当なし」と記載すること。

注４）技術者毎に様式４－１を提出すること。

注５）技術者３名を申請する場合は、上記に準じて提出すること。

1. 配置予定技術者の工事成績

[配置予定技術者－１]

|  |  |
| --- | --- |
| 配置予定技術者名 |  |
| 工　　事　　名 |  |
| 工事成績評定 | 点 |
| 工　　　期 | ［令和○○年○月○○日～令和○○年○月○○日］ |

[配置予定技術者－２]

|  |  |
| --- | --- |
| 配置予定技術者名 |  |
| 工　　事　　名 |  |
| 工事成績評定 | 点 |
| 工　　　期 | ［令和○○年○月○○日～令和○○年○月○○日］ |

注１）対象工事のコリンズ登録の写しを添付すること。

注２）当該工事の成績評定通知書を添付すること。

注３）上記内容と確認資料が合致しない場合は、加点評価対象としない。

注４）該当なしの場合は、配置予定技術者名の欄に「該当なし」と記載すること。

注５）技術者３名を申請する場合は、上記に準じて提出すること。

1. 配置予定技術者の継続教育（ＣＰＤ）単位の取得

[配置予定技術者－１]

|  |  |
| --- | --- |
| 配置予定技術者名 |  |
| ＣＰＤ協議会加盟団体の名称 |  |
| 推奨単位 |  |
| 取得単位 | * ：推奨単位以上を取得
* ：推奨単位の１/２を超える単位を取得
 |
| ＪＳ研修の名称 |  |
| 工事種別 |  |

[配置予定技術者－２]

|  |  |
| --- | --- |
| 配置予定技術者名 |  |
| ＣＰＤ協議会加盟団体の名称 |  |
| 推奨単位 |  |
| 取得単位 | * ：推奨単位以上を取得
* ：推奨単位の１/２を超える単位を取得
 |
| ＪＳ研修の名称 |  |
| 工事種別 |  |

注１）評価対象となる取得単位を確認できる資料として、建設系ＣＰＤ協議会に加盟する団体の推奨単位、取得単位が証明できる書類（当該団体が発行した証明書の写し）を添付すること。

注２）評価対象となるＪＳ研修の修了を証明できる書類（修了証の写し）を添付すること。

注３）同一の団体の単位に限る。

注４）取得単位は、該当する事項に■印を付ける。

注５）上記内容と確認資料が合致しない場合は、加点評価対象としない。

注６）該当なしの場合は、配置予定技術者名の欄に「該当なし」と記載すること。

注７）技術者３名を申請する場合は、上記に準じて提出すること。

［企業の信頼性･社会性に関する評価項目］

1. 委託団体との災害協定又は災害活動実績
2. 災害協定

|  |  |
| --- | --- |
| 協定の相手方 |  |
| 協定者 |  |
| 協定の名称 |  |
| 締結日 |  |
| 期限日 |  |

1. 災害活動実績

|  |  |
| --- | --- |
| 災害名 |  |
| 活動実施都市名 |  |
| 完了年月日 |  |

注１）協定書の写しを添付すること。なお、公告時点において有効となるものに限る。

注２）加盟している団体が協定を締結している場合は、協定書の写しを添付するとともに団体に加盟していることを示す資料の写しを添付すること。なお、公告時点において有効となるものに限る。

注３）災害活動を行っている場合は、契約書又は災害活動等の実績に係る証明書の写し（災害名、活動実施場所、完了日が証明できるもの）を添付すること。

注４）上記内容と確認資料が合致しない場合は、加点評価対象としない。

注５）該当なしの場合は、協定の相手方及び当該工事の委託団体の欄に「該当なし」と記載すること。

1. 地元企業の採用率

【土木工事、建築工事の場合】

|  |  |
| --- | --- |
| 申請内容 | * ： 40％以上
* ： 20％以上40％未満
* ： 該当なし
 |
| 地元企業 | 名称 | 所在地（住所） |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

注１）申請内容欄の該当する事項に■印を付けること。

注２）地元企業欄に記載した企業は、発注者及び受注者を拘束するものではない。

【機械設備工事、電気設備工事の場合】

|  |  |
| --- | --- |
| 申請内容 | * ： 15％以上
* ： 5％以上15％未満
* ： 該当なし
 |
| 地元企業 | 名称 | 所在地（住所） |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

注１）申請内容欄の該当する事項に■印を付けること。

注２）地元企業欄に記載した企業は、発注者及び受注者を拘束するものではない。

1. バックアップ体制

|  |  |
| --- | --- |
| 本店名及び建設業許可証の種別 |  |
| 住所 |  |

注１) 本店名、建設業許可証の種別、住所が確認できる資料の写しを添付すること。

注２）該当なしの場合は、本店名及び建設業許可証の種別の欄に「該当なし」と記載すること。

注３）上記内容と確認資料が合致しない場合は、加点評価対象としない。

1. 日本下水道事業団発注工事事故における指名停止等措置（減点評価）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 指名停止等の措置 | 指名停止の期間又は発日 | 減点評価期間 | 措置を受けた会社名（ＪＶの場合） |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

注１）指名停止通知書、文書注意の写しを添付すること。なお、競争参加資格確認申請書の提出期限日において減点評価の対象となるものに限る。

注２）該当なしの場合は、指名停止等の措置欄に「該当なし」と記載すること。

注３）指名停止の場合は指名停止の期間、文書注意又は口頭注意の場合は発日を記載すること。